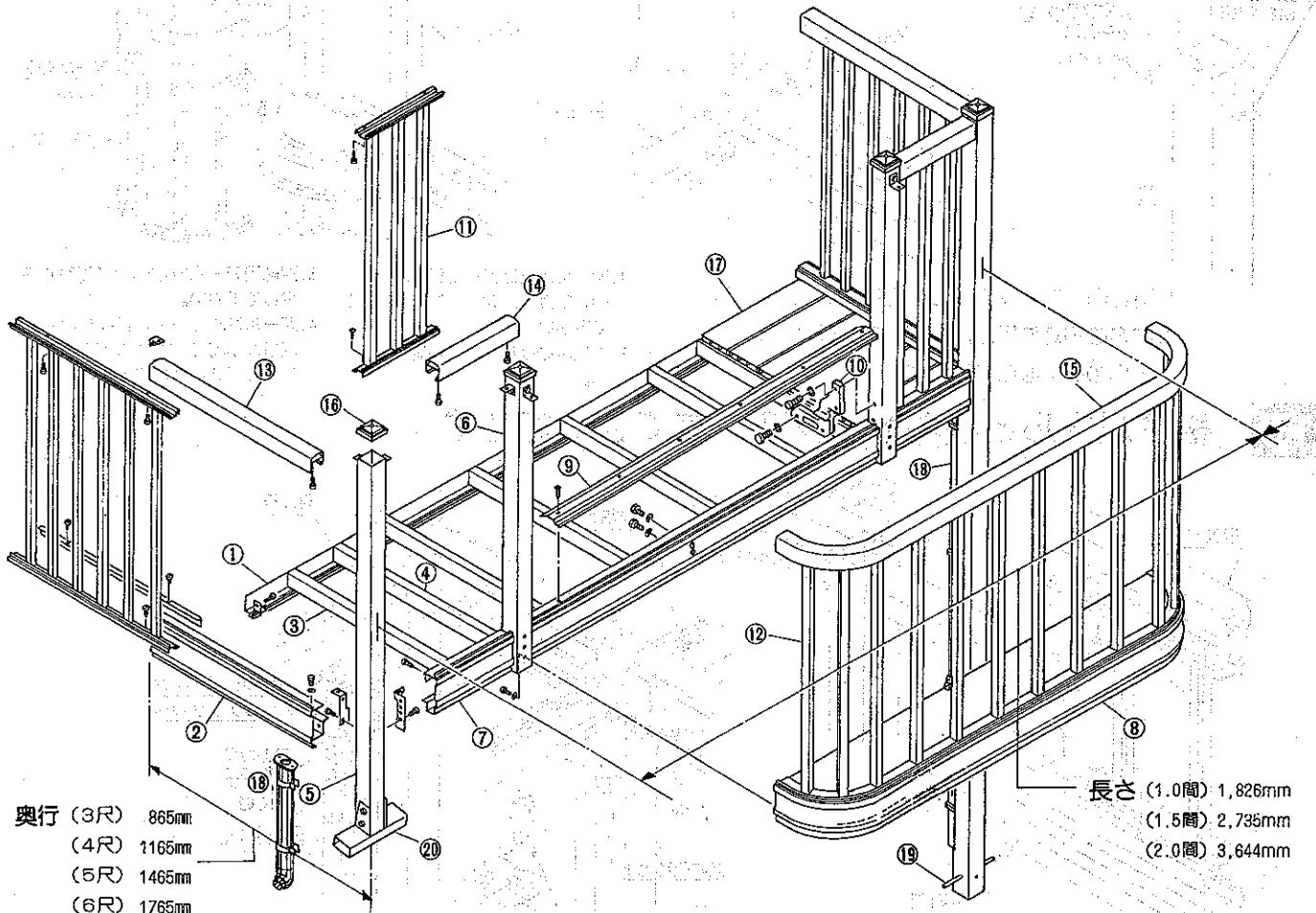


# バルコニー快晴6型

取説番号 M-288

改-1

## 部材と部品の名称



### 部材・部品名称

- |            |                  |
|------------|------------------|
| ① 根太かけ     | ⑫ アール格子パネル       |
| ② 妻ばり      | ⑬ 妻笠木            |
| ③ 根太       | ⑭ 前笠木            |
| ④ 振れ止め根太   | ⑮ アール笠木          |
| ⑤ 柱        | ⑯ 柱キヤップ          |
| ⑥ けた上柱     | ⑰ デツキ材           |
| ⑦ けた       | ⑱ たて樋            |
| ⑧ アールけた    | ⑲ アンカーピン         |
| ⑨ アールけたカバー | ⑳ つか受け<br>(連結部材) |
| ⑩ 補強金物     | 連結根太             |
| ⑪ 格子パネル    | 間柱               |
|            | 補強ブラケット          |

## 部材拾い出し参考表

部材名称	こはく色記号 (KLB)	1.5間			2間			2.5間			3間			3.5間			4間			4.5間			5間			5.5間			6間										
		3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺	3尺	4尺	5尺								
柱	柱建て式 屋根置き式	6CB1P 2P	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1								
間柱	柱建て式 屋根置き式	6CB1RP 2RP							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2							
けた上柱		5CB3P	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3								
横材	1間 1.5 2	6CBY10 15N 20N	6CBY10 15WN 20WN	1	1	1			1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	1	1	1									
奥行材	3尺 4 6	5CBT3H 4H 6H		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1							
根太	1間 4 6 1.5間 4 6 2間 4 6	3尺 6CBN103 104 106 5CBN153 154 156 5CBN203 204 206	6CBN103W 104W 106W 6CBN153WN 154WN 156WN 6CBN203WN 204WN 206WN	1					1		2		1				3		2		1																		
連結根太	3尺 4 6		6CBRN3 4 6						1		1		1		1		1		1		2		2		2		2		2		2								
アール部材	標準用 連結用		6CBSYN	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3								
前面アール部 縦格子パネル	標準用 連結用		6CBBTS	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3								
前面 縦格子パネル	1枚入 2枚入 20	6CBBT10 15 20W	6CBBT10W 15W 20W						1	1	1										3	3	3	2	2	2	2	1	1	1									
側面 縦格子パネル	3尺 4 6		5CBBT3 4 6		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1								
部品箱	標準用 連結用		6CBBBOX 6CBRBOX	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1								
梶包数小計 (テッキ材を除く)				10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	19	19	19	19	19	19	19	19	19	28	28	28	28	28	28	28	28	28							
デッキ材	1間 3枚入 1.5間 2枚入 3枚入 2間 3枚入		BD102 BD103 BD152 BD153 BD202 BD203								2	1																											
梶包数小計				1	2	2	2	1	2	2	2	4	4	4	4	2	3	4	4	2	4	4	4	2	3	4	4	3	4	5	6	3	5	6	6	3	4	5	6
梶包数合計 (テッキ材を含む)				11	12	12	11	12	12	12	18	20	20	20	21	22	23	23	21	23	23	23	21	22	23	31	32	33	34	31	33	34	34	31	32	33	34		

## 部材・別売部品

部品名	こはく色記号	ホワイト色記号
戸袋調整部品	5CBTS	5HBTS
物干しセット (壁付タイプ)	5CBMO2	5HBMO2
入隅プラケット	5B8B	
柱移動部品	5CBB6	5HBB6

## 施工注意事項

- 根太がけの取付けの際には、建物の構造を良く調べた上で、必ず柱・間柱などの強度部材に取付けて下さい。
- 妻ぱり、笠木などは、戸袋に直かに固定することは、強度上危険ですので、取付け位置に戸袋など障害物がある場合には、必ず戸袋調整部品を使用して下さい。
- 急結剤は使用しないで下さい。
- 海砂は充分水洗いして下さい。
- 当社の商品は耐食アルミニウム合金押出形材や、アルミニウム鋳物合金を主材に陽極酸化皮膜(アルマイト)とクリア塗装、又は塗料による塗装などの表面仕上げを施して腐食防止してありますが、施工の際は、下記の点にご留意の上お取扱い下さい。
- ①モルタルコンクリートには急結剤を使用しないで下さい。腐食して危険な状態にな

ることがあります。もし使用する場合は、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用するようにして下さい。

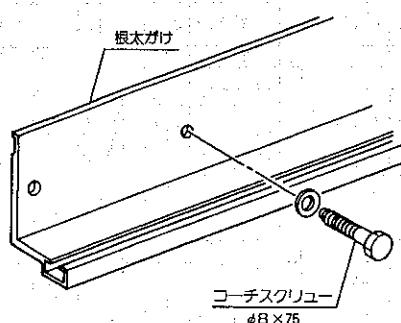
②海砂を使用するときは、充分水洗いをしたものをご使用下さい。水洗いが不充分の場合は腐食する可能性があります。

③輸入木材は塩分が含まれしているものがありますので、アルミニウムと接触する部分には、木材に塗装するようにして下さい。

④アルミニウムと異種金属(特に銅系)と直接ふれないようにして下さい。電位差により電食を起し、アルミニウムが腐食し孔があいたりします。もし使用する場合は、アルミニウムと接触する銅系等にビニールテープを貼り、絶縁処理して下さい。

# 組立順序

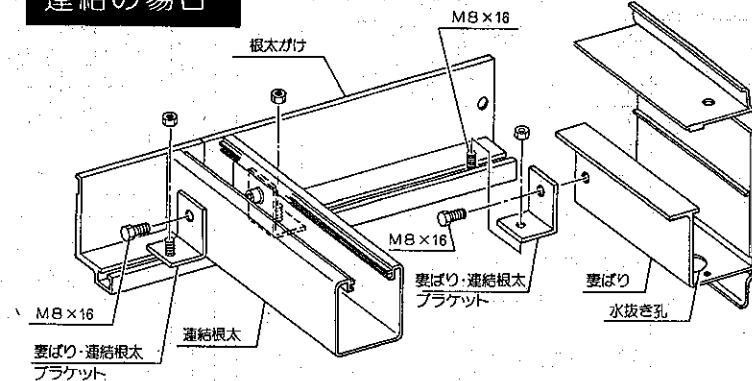
## 1 根太がけの取付け



1. 根太がけ取付け位置は、水平を出し、墨出しして下さい。
2. 根太がけを  $\phi 8 \times 75$  のコーチスクリューで固定して下さい。
3. 下孔には、コーティング材を充填して下さい。なお根太がけの周囲にも、コーティング材をシーリングして下さい。

## 2 妻ぱりと連結根太の組み立て

### 連結の場合

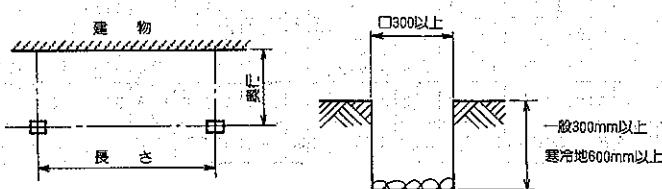


1. 妻ぱり(左・右)を、根太がけに固定して下さい。
  2. 連結根太を、根太がけに固定して下さい。
- (注)妻ぱりの左・右と連結根太の内、外は水抜き孔が柱側になるよう確認して固定して下さい。

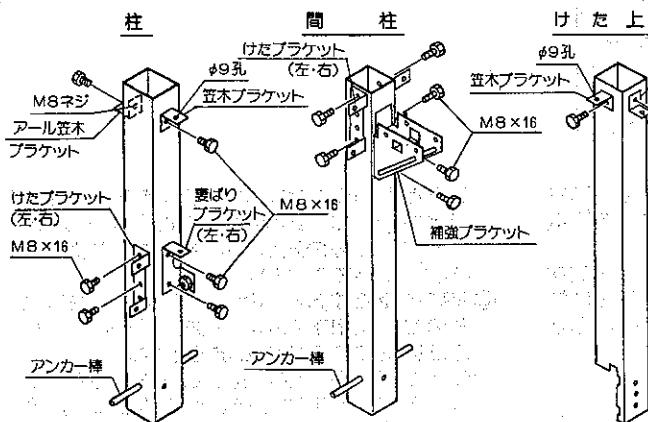
## 3 柱の長さ合せと部品の取付

### 柱建て式の場合

#### ■柱の埋め込み用根切り

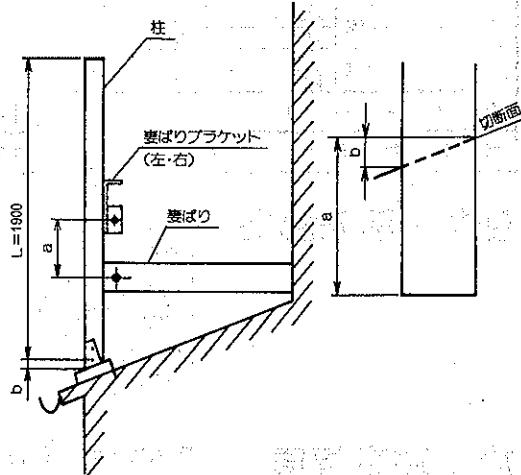


#### ■部品の取付け



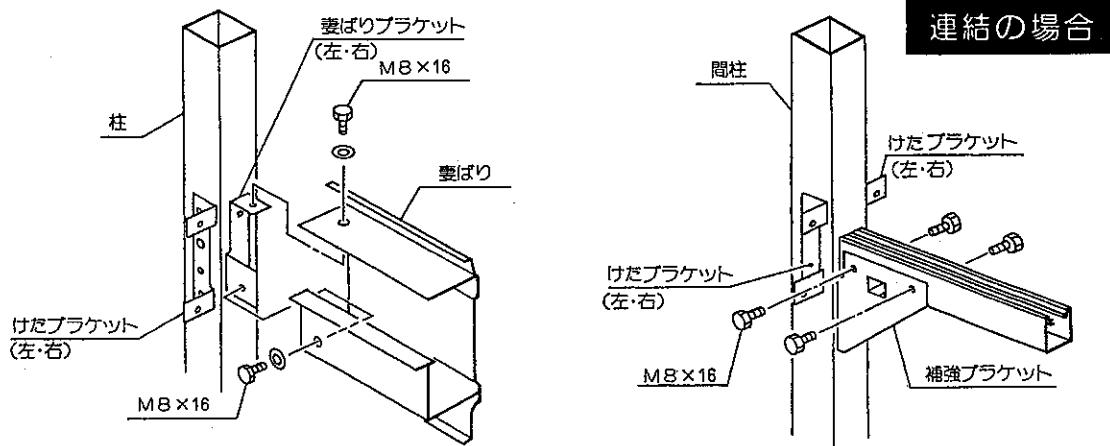
1. 柱埋込み用穴位置を決めて、穴を掘って下さい。
2. 柱及び間柱、けた上柱にブレケットを取り付けて下さい。(柱とけた上柱には、左、右があります。)
3. 妻ぱりの水平を出し、柱の垂直を確認して柱の長さを実測して、所定の寸法に切断して下さい。

### 屋根置き式(ひ)の場合



1. アンカーブレート以外の部品の取付けは、全て柱建て式と同じ要領で取付けて下さい。
  2. 妻ぱりを反止めし、水平を出して妻ぱり取付けブレケットの孔と妻ぱりの取付け孔を測ります。
  3. 実測が済んだら、柱下端部より、図のように寸法を出し、角度切りして下さい。
  4. 柱と、つか受けにブレケットを取付けて下さい。
- (注)① a寸法は、妻ぱり取付けブレケット孔センターから妻ぱり加工孔センターまでです。  
② b寸法は、屋根勾配によって変わります。  
③ 柱と、つか受けの固定は寸法決定後、つか受けのブレケット孔に合わせて  $\phi 9$  の孔を開け、ボルトで固定して下さい。

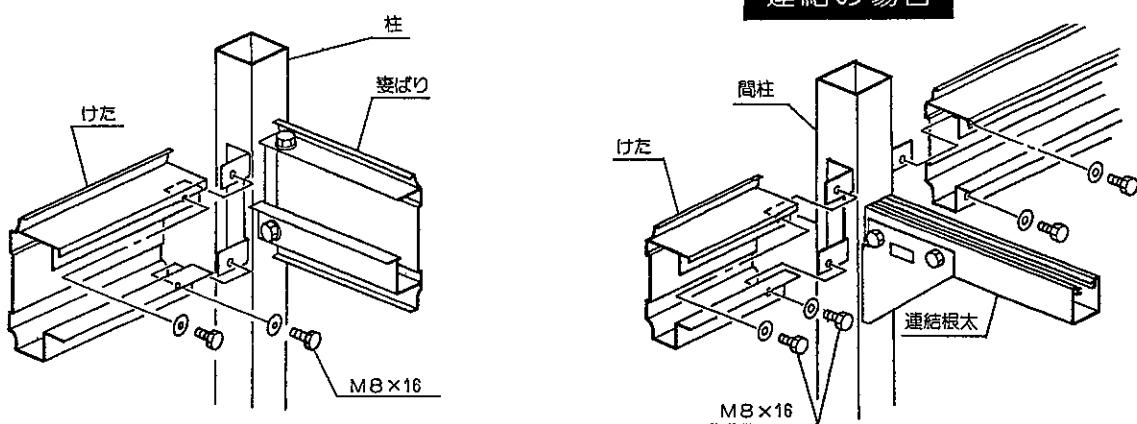
## 4 柱の組み立て



- 1.水平を確認して、妻ばりを柱に固定して下さい。
- 2.連結の場合は、連結根太を間柱に固定して下さい。

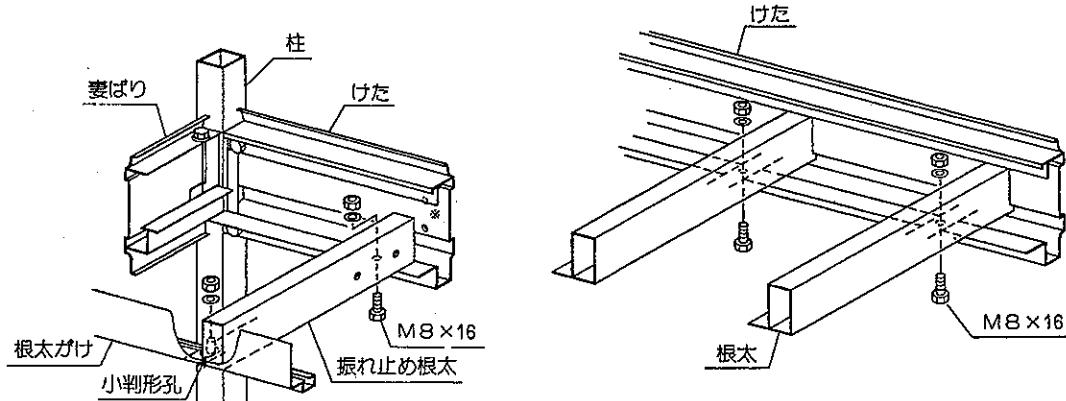
注) 妻ばり、連結根太は、水切りを考慮して、パルコニー柱側に、水勾配をつけるように取付けて下さい。

## 5 けたの組み立て

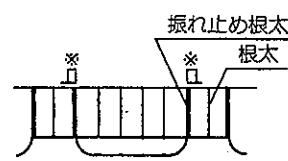


- 1.けたを、コーナー柱に固定して下さい。
- 2.連結の場合は、けたを間柱に固定して下さい。

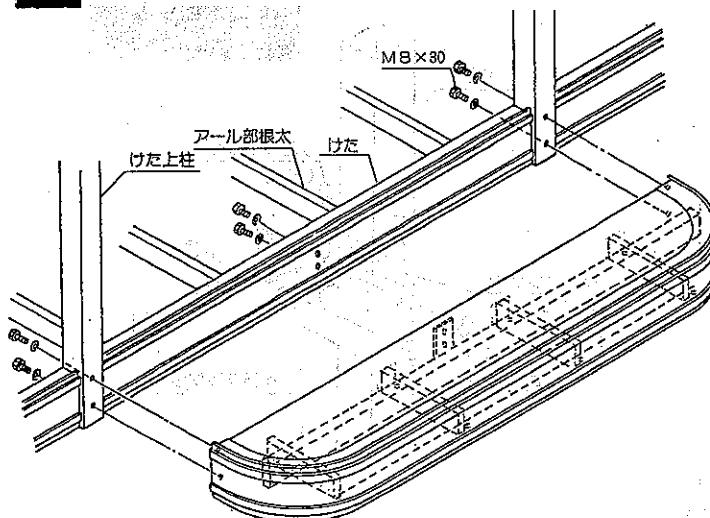
## 6 根太と振れ止め根太の組み立て



- 1.根太掛けの切れ孔から、必要本数のボルトを差し込んで下さい。
- 2.振れ止め根太の取付け向きに注意して下さい。
- 3.小判形孔が建物側になるように固定して下さい。
- 4.振れ止め根太の取付け位置は、図の※印位置に取付けて下さい。
- 5.下げ振り、水準器などで、けた、柱などの水平・垂直を確認して下さい。

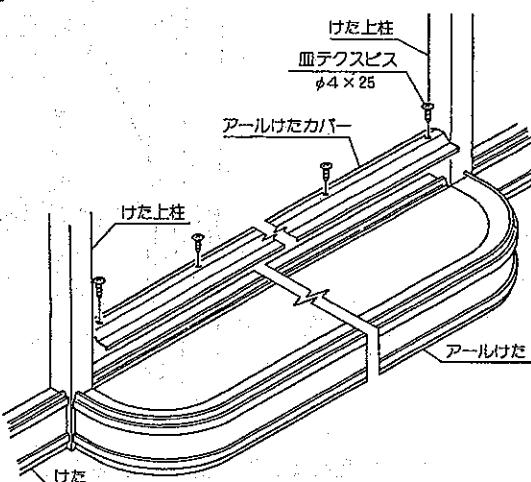


## 7 アールけたの組み立て



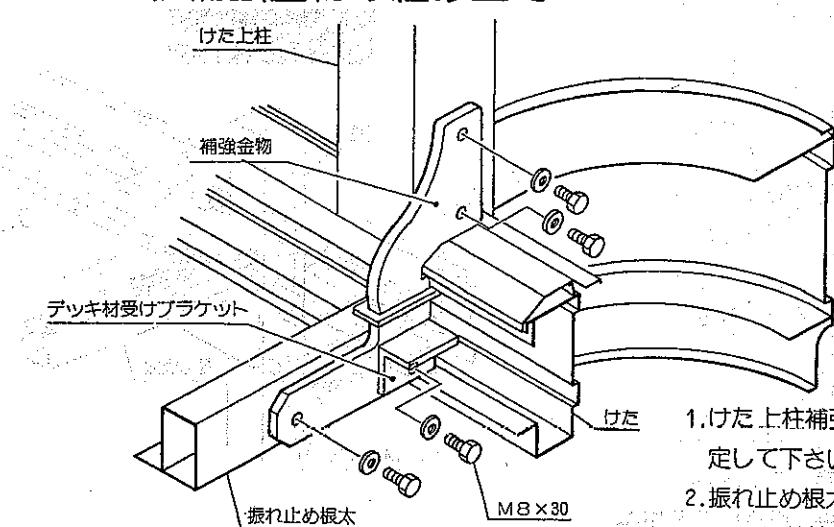
- けた上柱の向きに注意して、けた上柱を建て、アールけたを固定して下さい。

## 8 アールけたカバーの組み立て



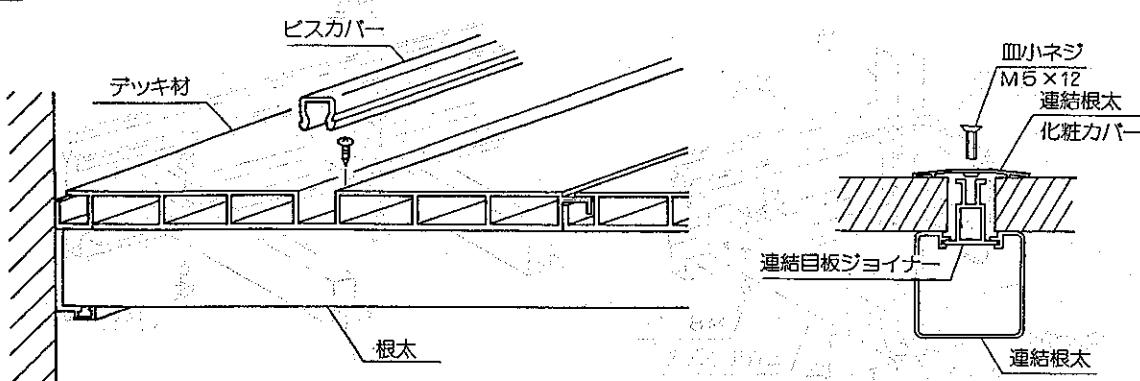
- アール部のけたに、アールけたカバーを固定して下さい。

## 9 けた上柱補強金物の組み立て



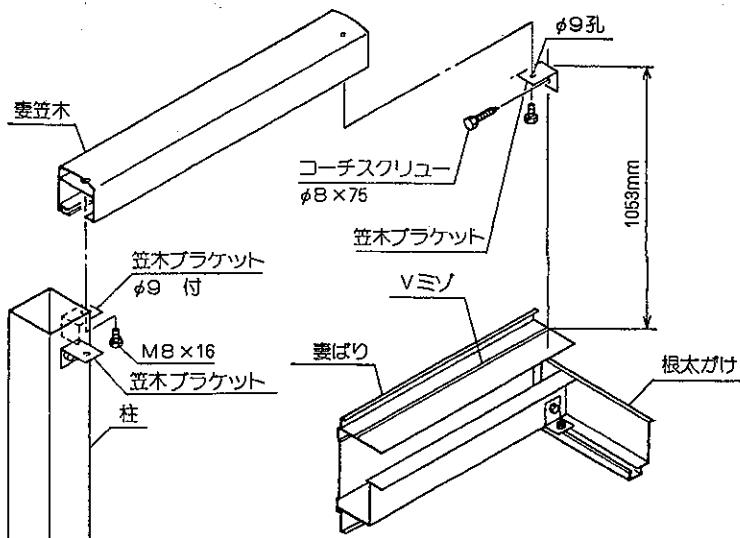
- けた上柱補強金物を、けた上柱と振れ止め根太に固定して下さい。
- 振れ止め根太を取り付けるとき、デッキ材受けプラケットを共締めして下さい。

## 10 デッキ材の組み立て



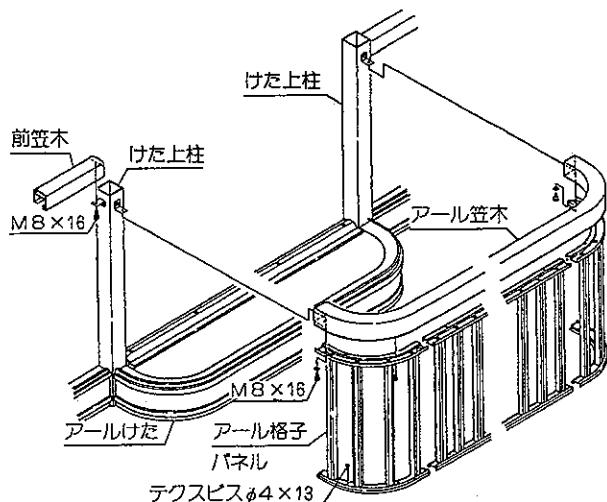
- 連結の場合は、連結目板ジョイナーを連結根太の切欠き部から3ヶ差込んで下さい。
  - 根太、妻はり、連結根太にデッキ材を取り付けて下さい。
  - ビスカバーをはめ込んで下さい。
  - 連結の場合は、連結根太化粧カバーを取り付けて下さい。
- 注) デッキ材が柱、あるいは補強金物に当りますので、その部分を金のこで切り欠いて下さい。

## 11 妻笠木の組み立て



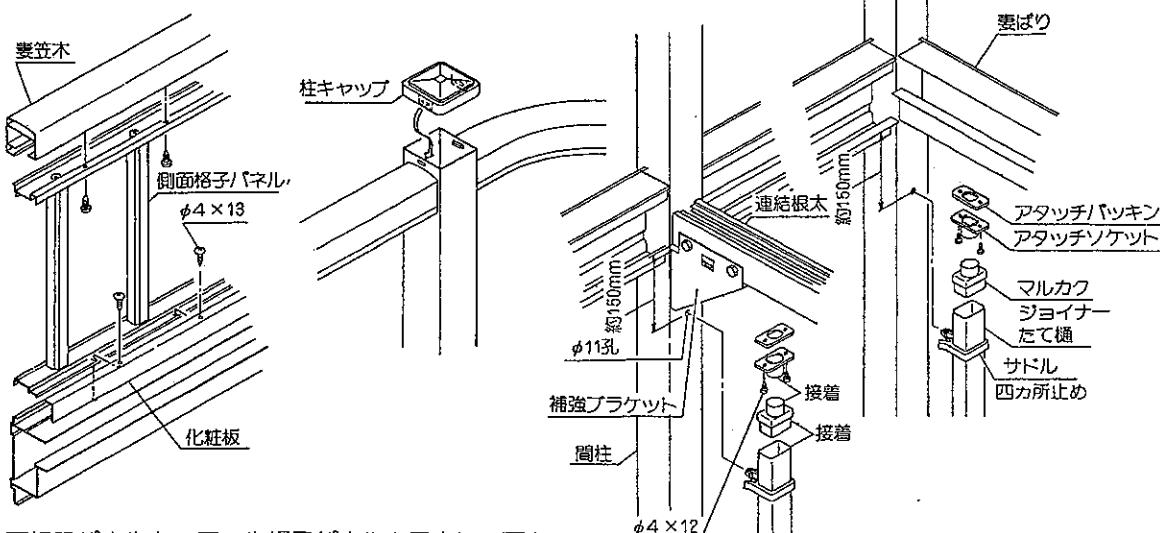
1. 建物側妻笠木ブレケットを固定して下さい。
2. 左右の固定位置は、妻ばり中央のVミゾが、金具の孔中心になります。

## 12 前笠木とアール笠木の組み立て



1. アール桁にアール格子パネルをのせてから、アール笠木を固定して下さい。
2. 前笠木を桁上柱に固定して下さい。
3. 連結用アール笠木も同じ要領で固定して下さい。

## 13 格子パネルと柱キヤップ及びたて樋の組み立て

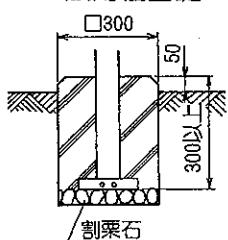


1. 前面格子パネルと、アール格子パネルを固定して下さい。
2. 側面格子パネルの場合は、化粧板と共に締めして下さい。
3. キヤップの向きに注意して柱にはめ込んで下さい。
4. たて樋の取付けは、柱にφ11孔(4ヶ所)をあけて取付けて下さい。

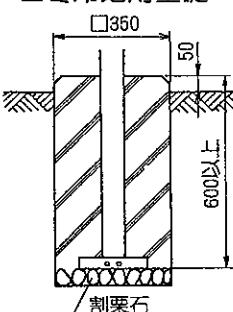
## 14 柱の固定方法

### 柱建て式の場合

#### 一般用柱基礎



#### 寒冷地用基礎



### 屋根置き式の場合

#### 屋根置き式の場合

1. 柱用アンカープレートの下には、必ず割栗石を入れて下さい。
2. コンクリート打ちは、すべての作業が完了し、水平・垂直を確認した後つか受けのブラケット孔に合わせてφ9の孔を開けボルトで固定して下さい。

